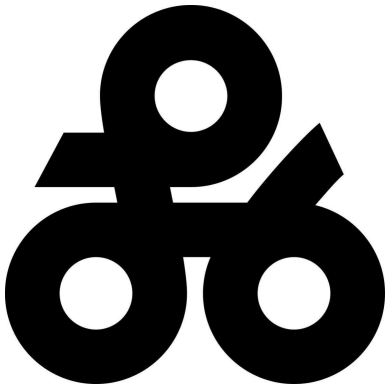
令和7年度

水 道 事 業 統 計 年 報

（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）

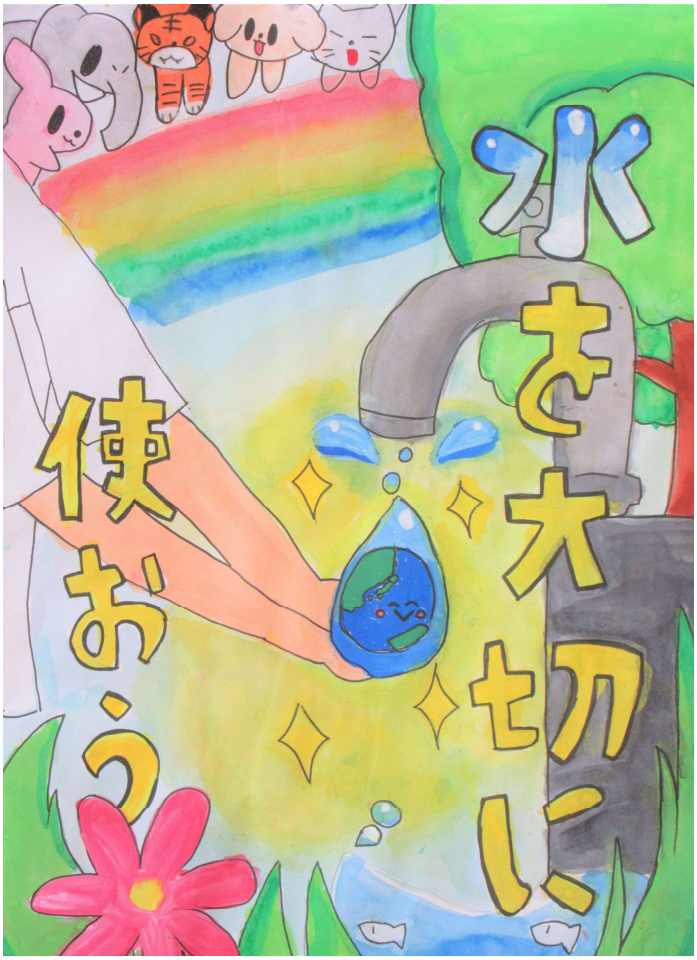


沖 縄 市 上 下 水 道 局

令和7年度

水 道 事 業 統 計 年 報

（令和７年４月１日～令和８年３月３１日）



第 67 回水道週間懸賞作品（図画） 上下水道事業管理者賞

美里小学校　浜崎　朱瑛里　さん

沖 縄 市 上 下 水 道 局

令和7年度水道事業統計年報目次

第1章 事業概要

１－１．沖縄市(水道)の概要・・・・・・ 6

１－２．令和7年度事業概要・・・・・・ 11

１－３．水道事業の推移 ・・・・・・・ 12

１－４．水道料金・加入金の変遷 ・・・ 14

第2章 機 構

２－１．機構及び職員配置 ・・・・・・ 19

２－２．事務分掌 ・・・・・・・・・・ 20

２－３．職員構成 ・・・・・・・・・・ 22
(1)年齢別調
(2)水道事業勤続年数別調
(3)給料額別調

第3章 施 設

３－１．送・配水施設 ・・・・・・・・ 25
(1)送・配水管
(2)付属器具
(3)配水池
(4)配水ポンプ場
(5)耐震性貯水槽

３－２．施設紹介 ・・・・・・・・・・ 26
八重島配水池・八重島第２配水池・
松本配水池・大里配水池・高原配水池・
胡屋配水池・与儀配水ポンプ場・山里配水
ポンプ場・上下水道庁舎

３－３．固定資産明細書 ・・・・・・・ 28
(1)有形固定資産明細書
(2)投資その他の資産明細書

３－４．新設・改良工事の概況・・・・ 30
(1)国庫補助工事
(2)単独工事
(3)負担金工事（消火栓設置工事）
(4)受贈物件
(5)営業設備

３－５．施設電力使用状況・・・・・・ 33

第4章 配 水

４－１．沖縄市配水系統図・・・・・・ 37

４－２．浄水場系統別･分岐点別受水量 ･･ 38
(1)北谷浄水場系統
(2)石川浄水場系統
(3)全 体
※ その他

４－３．嘉手納基地給水の配分状況 ・・ 40

第5章 給 水

５－１．水質検査結果・・・・・・・・ 43
(1)水質基準項目(５１項目)
(2)水質管理目標設定項目(２7項目)

５－２．給水装置工事申込及び施工状況 44
(1)申込件数
(2)施工件数

５－３．給･配水施設修繕状況 ・・・・ 46

５－４．メーター取替及び修理状況 ・・ 47
(1)取引メーター
(2)配水ブロックメーター
(3)合計

第6章 業　務

６－１．給水普及状況 ・・・・・・・・・ 51

給水人口及び普及率の推移(グラフ)

６－２．給水量及び浄水購入費 ・・・・ 52

６－３．給水量分析 ・・・・・・・・・・ 53

６－４．口径別有収水量 ・・・・・・・・ 54

６－５．口径別調定栓数 ・・・・・・・・ 56

６－６．口径別１栓１月平均有収水量 ・ 58

６－７．口径別料金調定額 ・・・・・・・ 60

６－８．手数料収納状況 ・・・・・・・・ 62

６－９．加入金収納状況 ・・・・・・・・ 62

６－10．検針業務委託状況 ・・・・・・・ 64

６－11．水道使用料収納状況 ・・・・・・ 64

６－12．料金徴収業務状況 ・・・・・・・ 65
(1)口座振替
(2)自主納付

６－13．開閉栓業務委託状況 ・・・・・・ 66

６－14．滞納整理業務委託状況 ・・・・・ 66

第7章 財　務

７－１．収入及び支出決算比較 ・・・・ 69
(1)収益的収入及び支出
(2)資本的収入及び支出

７－２．損益計算書比較 ・・・・・・・・ 69

７－３．貸借対照表比較 ・・・・・・・・ 70
(1)借　方
(2)貸　方

７－４．企業債明細書・・・・・・・・・ 71

７－５．財務･経営分析 ・・・・・・・・ 72
(1)財務分析
(2)経営分析

７－６．費用構成比較・・・・・・・・・ 76

令和7年度の費用構成(グラフ)

第8章 議会･行政官庁

８－１．議会議決・認定事項・・・・・ 79
(1)予算関係
(2)条例関係
(3)決算関係

８－２．行政官庁認可事項・・・・・・ 79

その他の資料

災害対策の組織・・・・・・・・・・・・ 83

沖縄市水道事業年表・・・・・・・・・・ 84

沖縄市水道事業技術関連事項年表・・・ 92
(規定・基準関連)
(材料・器具等関連)

用語について･･･

有収水量･･･料金徴収の対象となった水量。

無収水量･･･料金徴収の対象とならなかった水量。

有効水量･･･メーターで計量された水量もしくは需要者に到達したと認められる水量。

有効水量 ＝ 有収水量 ＋ 無収水量

無効水量･･･水道施設の損傷等により無効となった水量。

無効水量 ＝ 年間給水量 － 有効水量

有収率･････配水量のうちの収益につながった水量の割合。

$$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間給水量}} \times 100$$

有効率･････水道施設及び給水装置を通して給水される水量が有効に使用されているかどうかを示す指標。

$$\frac{\text{年間有効水量}}{\text{年間給水量}} \times 100$$

送水管･････浄水場から配水池までの浄水を送る管。

配水管･････配水池から各家庭へ水を送る管。本管と支管があり、支管は本管から受けた水を給水管に分岐する。

給水管･････給水装置及び給水装置より下流の受水槽以下の給水設備を含めた管。

給水装置･･･配水管から分岐して設けられた給水管及びこれに直結する給水用具。

収益的収支･･･水道水を家庭等に提供するために年度中の事業活動に伴う支出とその財源となる収入。支出の主なものは浄水費、収入の主なものは水道料金。

資本的収支･･･収益的収支以外の長期的事業活動に伴う、水道水を提供するための施設や水道管の整備に必要な支出とその財源となる収入。支出の主なものは配水管の建設改良費や企業債の借入償還元金。収入の主なものは国庫補助金及び工事負担金。

資本費･･･事業維持のために、営業費用に上乗せして料金により回収するもの。企業リスクを補償し、設備資金などの調達を円滑に期するために認められたもの。

資本費 ＝ 【 減価償却費 ＋ 企業債利息(支払利息) ＋ 受水費中の資本費(浄水費×０.６)

－ 長期前受金戻入 】 ÷ 年間有収水量

参考：水道用語辞典 第二版
（日本水道協会発行）